

笑心の郷 だより

令和2年12月号

〒707-0421
美作市川上30-1
多機能型介護ホームえーる
TEL 78-0555
多機能型介護ホームはーと
TEL 78-0558
デイサービスセンターどりーむ
TEL 78-0557

基本理念：あなたの笑顔と夢を わたしの笑顔と夢で 心を込めて応援します

はーと

11月17・18日の2日に分けて文化祭を行いました。例年ですと、笑心の郷3施設合同で、また地域の演芸ボランティアの皆さんにお越しいただくところですが、新型コロナ渦により今年は地域との交流を控えさせていただき、各施設ごとの文化祭となりました。はーとでは、1日目敬老会で行った寸劇「赤ずきんちゃん」に加え、二人羽織を行いました。二人羽織では「ケーキを食べ、コーラを飲む」と「化粧をする」に挑戦しましたが、「そこまでしな



くても…」といったような表情で苦笑されている利用者の皆さんの反応に、2日目は急遽内容を変更。「箱の中身は何でしょう?」と、11月に困んだ雑学クイズや、歌を唄うなど緩やかな時間の流れの中、和やかな会となりました。



さて、11月に入り、木々が紅葉し美しい季節となりましたが、新型コロナ渦、冬の到来を前にインフルエンザとの同時流行も心配されます。今回は、はーとでの感染予防対策の一部を紹介したいと思います。職員の出勤前の体温測定・通所お迎え時の体温測定・日々の健康観察・食事や水分摂取時以外はマスク着用の徹底・手指消毒・設備消毒・1日2回の換気・飛沫感染予防対策としてアクリル板の設置などです。特にマスク着用においては、利用者の皆さん習慣になられており、徹底できているように思います。利用者の皆さんにはご不便をおかけしますが、今後共ご協力をお願いいたします。

12月はクリスマス会を企画しています。プレゼントも用意していますので、楽しみにしてください。



唇に口紅を塗ったり、ほお紅を少し大げさに大きく塗ってみたりと工夫をしてみました。すると利用者の皆さんが大きな声で楽しそうに笑ってくれたので、職員も思い切って披露することができ、フラダンス・ハンドベルを含め楽しい文化祭になりました。

十一月十三・二十九日に文化祭を開催しました。今年にはコロナの影響で、えーる・はーと・どりーむ三棟合同での文化祭が無くなり、それぞれの施設での文化祭となりました。毎年来て下さるサックス演奏者の方、オカリナ演奏・日舞・扇子の披露が叶わず職員による出し物となり、うまく利用者の皆さんに楽しんでもらえるか不安の中どりーむでは二人羽織、フラダンス、ハンドベル演奏を披露しました。二人羽織ではケークやラーメンを上手く口まで運ぶのが難しく、テーブルに麺やケーキがこぼれてしまい四苦八苦しました。次に職員が入れ替わり、お化粧に挑戦しました。



利用者、職員一同元気に過ごせたら、とても嬉しいです。

冬に向けて花植えをしました。外に出ると日は差しているのに肌寒く、土も冷たかったです。それでも利用者の皆さんは「よっ!! 植えるぞ」と張り切って鍬やスコップを持ち、手で土を掘り、葉ぼたん・シクラメン・パンジーなどたくさんのお花を丁寧に植えて下さり、玄関が冬仕様になりました。今年もあと残り少なくなりました。利用者、職員一同元気に過ごせたら、とても嬉しいです。



えーる

11月28・30日に、文化祭を行いました。まずは〇×クイズからスタートしました。これがなんと超難問でしたが、全問正解の方もおられました。時々リラックスクイズも出したりして…例えば「パンダのしっぽは黒か白か」皆さんどちらだと思いますか? 正解は「白」です。機会があれば確かめてみてくださいね。紙芝居は利用者の皆さんが真剣な眼差しで聞いて下さるので2話用意しました。「こぶとりじいさん」と「尻っぴり嫁様」です。内容の中で一番笑顔が多かったシーンはお嫁さんが大きな尻をして姑さんが吹っ飛んだり、梨の実がすべて落ちてしまったところです。他にも、両手に花の腕輪をつけてみんなで体操をしたり、職員のハンドベルの演奏にあわせて昔懐かしい歌を唄いました。おやつは手作りの甘納豆入り抹茶パウンドケーキです。「美味しいなあ。」の声を多く聞くことができ嬉しかったです。終始和やかに、利用者の皆さんと職員一緒に、楽しい時間を過ごせました。



今月のお食事



今回は、ブリの照り焼き、平天の玉ねぎの煮物、長芋の和え物を作りました。これから美味しい季節を迎えるブリは、ツバス・ハマシメジロ・ブリと成長するにつれて呼び名が変わり、出世魚と呼ばれる縁起の良い魚です。